

於ても、日本の百萬戸五百萬人の國策移民數を全然算入せずして、五四、四二四、五五四人となり、年平均増加數は五〇四、三二九人である。

吾々は此の五十萬人の増加數に對して、決して奇異の觀を持つべきでは勿論ない。日本の場合に於ては、夫れは約倍數であり過去五年間昭和五—一〇年に於て、四百八十萬の増加を示した事實を想起するならば、滿洲人口の累年五十萬人の増加は、何等奇異とするに足りない。

而も、以上は日本の百萬戸五百萬人の集團移民計畫を、全然除外した滿洲人口數なのである。

五百萬人移民計畫に於ける五百萬人の人口數は、單に送出數に過ぎないのであるから、二十年後に送出數が五百萬に達する迄には、十九年間に送出された移民の自然増加數は、相當な數になつて居るものと觀ねばならぬ。

註 内地人口の自然増加率は人口千に付一三・〇八である(列國國勢要覽昭和十二年版)

更に考慮を要することは、康德三年に於ける滿洲人口數の中には、國策移民とは別に、既に入滿して居る日本人口が相當數——内地人一八九、五〇八人、朝鮮人八六三、九五七人(註 滿鐵附屬地の日本人人口を含まず)に達して居るのであるから、今後に於ても、斯る移民計畫外に自然に流入する日本人口は、移民計畫の活潑なる進展と併行表裏して増加して行くことは、極めて自然な人口發展現象と思はれるから、ここに所謂「幾何級數」的な人口の發展激化が其の後に來るものと、今日に於て豫見することは決して妥當を失するものと謂ふを得ないと結論してゐる。

註 滿鐵附屬地の移讓により同年に於ける同地域の日本人口を加算すれば内地人 三九二、七四四、朝鮮人八九四、七四四(小山榮三)

シーボルトと弟子高良齋との問答大意

(埋め草)

文政六年七月來朝した蘭館醫シーボルトは日本に滯留中門人等に問題を提出し、答を求めたが、左は其中高良齋との間に交された出生率死亡率等に關する問答の大意である(「シーボルト」研究八五—八七頁)

(問) 日本の男女の平均年齢は何歳か? 日本の何處に長壽の人が居るか?

(答) 男女とも六十歳は高齡といふ事になつてゐる。七十歳に達する人もある。「古稀の人」或は「古稀の壽」といひ、古來稀なりといふ意味である。時には八十歳、九十歳の人もある。百歳の人は五十年か百年に一人位である。高齡な人は山の中とか邊鄙の所に居る。時には町にも居る。

(問) 日本の女子の月經初潮は何歳で來るか? 何歳で子を生むか?

(答) 初潮は平均十四歳である。時には十五歳或は十六歳以後に始まる。十三歳以下では見られないが、此の年齢で子供を作る事は出来る。

(問) 日本では男子と女子と何れが多く出生するか? 其割合は如何、歐羅巴にては男兒二十人に對し女兒二十一人の割合なるが、日本にては女兒稍多かるべしと考ふ。

(答) はつきりとは分らぬが、歐洲に於けるよりも女子が多く生れる様である。

(問) 日本にては一年間に百人中何人死亡するか? 歐羅巴にては三十三人に付一人死亡する。日本にては尙ほ少きかと考へらる。

(答) 日本にては二十二人に一人の割合で死亡する。歐洲に於けるよりも多く死ぬ。